

卒業前技術トレーニングで BLS（一次救命）の技術を磨きました

平成 26 年 7 月下旬に看護学科 4 年生 66 名が卒業前技術トレーニング（BLS：一次救命）を実施しました。卒業を前にした学生にとって、“安全で正確な技術”を身につけることは、看護を実践していくうえでとても重要なことです。今回のトレーニングは、本学附属病院に医療技術の習得・向上のために設立された「クリニカルスキルアップセンター」の支援を受け、看護学科教員とともに講習会を行いました。スキルアップセンターの先生方から確実な技術についてのコツや、臨床に即した助言をたくさんもらいました。学生からは「講習会に参加することで技術の再確認ができ自信がついた」、「エビデンスを押さえながら手技も学び頭と体で覚えながらできた」などと良い評価が得られました。学生が自己学習をもとに主体的に取り組むトレーニングになりました。



スキルアップセンターの先生の説明を
聞いています。



実際にみんなでやってみよう！



胸骨圧迫を絶え間なく、正確に行うのって
難しい・・・。



胸部突き上げ法（のどに異物を詰まらせた
ときの救命法）を練習中。